

野地プログラム ワークショップ

産業化に向けたバイオフィーム研究とクオラムクエンチング酵素工学

日時：2016年10月11日（火）13:00～17:40

会場：TKP 市ヶ谷カンファレンスホール9階（9C室）

プログラム

※時刻は若干の変更可能性あり

13:00～13:15 挨拶・ImPACTプログラム紹介 野地 博行（ImPACTプログラム・マネージャー／東京大学）

13:15～14:15 基調講演 「集団微生物の理解から制御へ」 野村 暢彦（筑波大学）

第一部：バイオフィームの理解と産業応用

（座長：野村 暢彦）

14:15～14:45 「企業におけるバイオフィーム研究」 久保田 浩美（花王株式会社）

14:45～15:15 「水処理再生技術とバイオフィーム」 稲葉 知大（産業技術総合研究所）

15:15～15:40 休憩

第二部：クオラムクエンチング酵素と進化分子工学の応用

（座長：徳力 伸彦）

15:40～16:10 「アシル化ホモセリンラクトン（AHL）分解遺伝子の多様性」 諸星 知広（宇都宮大学）

16:10～16:40 「Quorum Quenching Enzymes: Towards a Specific Control of Complex Microbial Communities?」
Mikael Elias （Univ. of Minnesota）

ImPACT 野地プログラム研究課題

16:40～17:10 「Quorum quenching enzyme の探索と改変」 徳力 伸彦（The Univ. of British Columbia）

17:10～17:40 「進化分子工学に向けた超並列型マイクロ・リアクター・アレイ・スクリーニング・システムの開発」
張 翼（東京大学）

18:00～ 意見交換会：TKP 市ヶ谷カンファレンスホール8階（バンケットB）

[参加申し込み]

ImPACTプログラムホームページ (<http://impact.jst.go.jp/sympo/biofilm>) に掲載している参加申込フォームに必要事項を記入の上、送信してください（申込〆切：10月4日（火）正午）。

[お問い合わせ先]

国立研究開発法人科学技術振興機構 革新的研究開発推進室 野地プログラム担当

TEL: 03-6272-8970

E-mail: impact-nj@jst.go.jp